

玉井康之 研究業績一覧

1. 著書（玉井単著書）

番	著者	書名・刊行物名	発行所	発表年	執筆頁	備考
1	玉井康之著	『北海道の学校と地域社会-農村小規模校の学校開放と地域教育構造-』	東洋館出版社	1996年2月1日	全215頁 (1~215頁)	
2	玉井康之著	『現代アラスカの学校改革-開かれた学校づくりと生涯学習』	高文堂出版社	1997年10月10日	全142頁 (1~142頁)	
3	玉井康之著	『地域に学ぶ「総合的な学習」-学社融合時代の学校・行政の役割-』	東洋館出版社	2000年7月25日	全150頁 (1~150頁)	
4	玉井康之著	『学校評価時代の地域学校運営-パートナーシップを高める実践方策』	教育開発研究所	2008年10月10日	全222頁 (1~222頁)	

2. 著書（玉井編著書・共編著書）

番	編者	書名・刊行物名	著者 (玉井分担)	執筆論文箇所	発行所	発表年	執筆頁	備考
1	川前あゆみ・ 玉井康之著	『山村留学と学校・地域づくり -都市と農村の交流にまなぶ-』	玉井康之	「はじめに」 第2章「体験学習内容の類型および教育効果と山村留学」 「生涯学習社会における山村留学の役割とへき地教育」 「おわりに」	高文堂出版社	1998年11月 10日	3~4頁、 32~46頁、 180~207頁、 216~217頁	
2	松浦義満監 修、野中陽 一・船越勝・ 玉井康之編著	『地域を生かせ! 総合的な学習の展開』	玉井康之	「遠隔地小規模学校の地域特性を生かした『総合的な学習』」	東洋館出版社	2000年7月 15日	32~47頁	
3	玉井正明・ 玉井康之著	『少年の凶悪犯罪・問題行動はなぜ起きるのか-事件から学ぶ学校・家庭・地域の役割とネットワークづくり』	玉井康之	全巻共著	ぎょうせい	2002年4月 10日	全巻共著 1~232頁	

4	玉井康之編著	教職研修総合特集『新教育課程 先進事例集 学校・地域・家庭 連携事例集』	玉井康之	「まえがき」 「基本的視点」 「地域・家庭と連携した指導内容の充実-実践を 読んで」	教育開発研究所	2002年7月1 日	1~2頁 8~13頁 44~50頁	
5	手島勇平・ 坂口眞生・ 玉井康之編著	『学校という”まち”が創る学 び-教科センター方式を核にし た聖籠中学校の挑戦』	玉井康之	序章「現代日本の教育改革と聖籠中学校改革の構 造」 第3章「情報交流と相互補完を促進する学校経営 改革の挑戦」 第5章「生徒の居場所と社会性を高める学級経営 改革の挑戦」 第6章「誇りと自己統制力を育む生徒指導改革の 挑戦」 終章「学校という”まち”が創る学びと聖籠中学 校の挑戦」 座談会「学校という”まち”が創る学びを目指し て」 「おわりに」	ぎょうせい	2003年11月 1日	1~16頁 63~82頁 107~124頁 125~148頁 165~180頁 181~194頁 209~211頁	
6	川前あゆみ・ 玉井康之著	『山村留学と子ども・学校・地 域-自然がもたらす生きる力の 育成』	玉井康之	「はじめに」 第一章「山村留学に見られる体験学習の基本類型 と教育効果」 「おわりに」	高文堂出版社	2005年1月 30日	3~6頁 36~56頁 166~169頁	
7	玉井康之編著	『子どもと地域の未来をひら くへき地・小規模校教育の可 可能性』	玉井康之	「はじめに」 序章「へき地・小規模校の教育研究の課題と現代 的な可能性」 第1章「現代におけるへき地・小規模校教育の特 性と’へき地’のパラダイム転換の可能性」 第2章「へき地・小規模校経営の特性と学校・地 域協働運営の可能性」 第3章「義務教育費国庫負担制度の廃止問題とへ き地・小規模校の果たす多面的役割」 第4章「へき地・小規模校の地域性・小規模生を	教育新聞社	2006年4月5 日	1~3頁 10~21頁 22~31頁 32~45頁 46~61頁 62~73頁	

				生かした総合的な学習の可能性」 終章「地域性・小規模性を活かしたへき地・小規模校教育の可能性」			134～141 頁	
8	岡崎友典・玉井康之著	『コミュニティ教育論』（放送大学大学院講義テキスト）	玉井康之	第4章「学校と地域社会（2）～コミュニティスクールの源流～」 第5章「地域の子どもの遊び・生活と教育コミュニティ」 第6章「総合的な学習とまちづくり」 第9章「コミュニティと学校の説明責任」 第10章「学校と地域を結ぶ地域コーディネーターの役割」 第11章「開かれた学校と生涯学習施設」 第12章「中山間地の学校と地域コミュニティ」	放送大学教育振興会	2010年3月20日	66～79 頁 80～91 頁 92～111 頁 143～158 頁 159～172 頁 173～184 頁 185～195 頁	
9	鈴木敏正・玉井康之・川前あゆみ編著	『住民自治へのコミュニティネットワーク-酪農と自然公園のまち標茶町の地域再生学習』（日本図書館協議会推薦図書）	玉井康之	第一章「標茶町コミュニティネットワーク型まちづくりの特徴」 終章「コミュニティネットワークの推進と総合的地域再生学習」 あとがき	北樹出版	2010年4月1日	31～67 頁 259～281 頁 282～286 頁	
10	玉井康之監修 二宮信一・川前あゆみ編著	『教育活動に活かそう へき地小規模校の理念と実践』	玉井康之	「はじめに へき地小規模校の利点を活かした教育活動の可能性」 第1章「現代の教育政策におけるへき地小規模校教育のパラダイム転換の可能性」 第2章「へき地小規模校の経営の特性と地域協働運営の可能性」 第3章「へき地小規模校の社会性を育む学級経営の基本的観点」 第6章「へき地小規模校における少人数・複式授業運営の基本的観点」 第7章「へき地の地域性を活かした地域教材開発とカリキュラム開発の必要性」 第8章「へき地小規模校の地域特性を活かした総合的な学習の可能性」	教育新聞社	2013年11月7日	1～15 頁 16～27 頁 28～41 頁 42～51 頁 68～77 頁 78～93 頁 96～106 頁	

				「おわりに へき地小規模校教育の可能性と教師教育の課題」			182～183 頁	
11	川前あゆみ・玉井康之・二宮信一編著	『アラスカと北海道のへき地教育』	玉井康之	「アラスカ・北海道の特徴の類似性と北海道の教育開発の可能性」	北樹出版	2016年3月1日	28～39 頁	
12	内山隆・玉井康之著	『実践 地域を探求する学習活動の方法-社会に開かれた教育課程を創る』	玉井康之	「はじめに 社会に開かれた教育課程の創造と地域を探求する学習活動の展望」 「4章 小学校高学年・中学校における社会教育行政から調べる地域学習活動の方法」 「5章 小学校高学年・中学校における公共施設の役割から調べる地域学習活動の方法」 「6章 小学校高学年・中学校における地域テーマ分類から調べる地域学習活動の方法」 「7章 小学校高学年・中学校における学校支援パートナーから深める地域学習活動の方法」 「8章 小学校高学年・中学校における地域学習プロセスと活動評価の方法」 「終章 地域づくり活動と社会に開かれた教育課程再編の考え方」 「おわりに」	東洋館出版社	2016年10月1日	1～9 頁 69～80 頁 81～88 頁 89～98 頁 99～108 頁 109～120 頁 129～146 頁 147～150 頁	
13	玉井康之編著・北海道教育大学釧路校教師教育研究会著	『子どもの“総合的な能力”の育成と生きる力』	玉井康之	「はじめに-科学・社会の急速な発展と“総合的な能力”」 「I. 学力・能力観の変遷と現代の“総合的な能力”育成の観点」 「II-3-2 家庭における生活習慣・学習習慣と学力形成」 VI-2. 新しい時代の能力と総合的な発達」 「おわりに-次代に求められる資質・能力の育成に向けて」	北樹出版	2017年3月10日	3～8 頁 14～28 頁 63～67 頁 249～263 頁 264～268 頁	

14	玉井康之・夏秋英房編著	『地域コミュニティと教育』 (放送大学講義テキスト)	玉井康之	「はじめに」 「4章 コミュニティスクール(地域社会学校)と学校・地域づくり」 「5章 教育内容とカリキュラムマネジメント」 「6章 総合的な学習活動と地域コミュニティ」 「9章 子どもの地域生活と生活体験活動」 「10章 地域コミュニティの活性化と都市・農村の交流」 「14章 地域コミュニティにおける行政・コーディネーターの役割」 「15章 地域コミュニティの教育課題と学習社会の構築」 「おわりに」	放送大学教育振興会	2018年2月		
----	-------------	-------------------------------	------	--	-----------	---------	--	--

3. 著書(共著書・分担執筆)

番	著者	執筆論文箇所	編者	書名・刊行物名	発行所	発表年	ページ	備考
1	玉井康之	「再編集落の運営と技術の高位平準化」(第3章3節)	北海道農業研究会編	『経済構造調整下の北海道農業』	北海道大学図書刊行会	1991年1月25日	150～161頁	
2	玉井康之	「農村地域社会における情報活動と農民の相互学習」	山田定市・鈴木敏正編	『地域づくりと自己教育活動-生涯学習の計画化・上-』、	筑波書房	1992年3月31日	182～201頁	
3	玉井康之	「子どもの生活課題と学校外教育-学校との連携による生涯教育の基礎形成」	日本社会教育学会年報編集委員会	『生涯学習体系化と社会教育』、	東洋館出版社	1992年10月15日	60～68頁	
4	玉井康之	「『地域素材の教材化』の展開と条件」	奥山洸編	『創る 発達と教育』、	川島書店	1993年4月1日	107～126頁	
5	玉井康之	「へき地学校と地域的福祉」	神田・橋本・朝岡・玉井著	『教育と福祉』、	高文堂出版社	1993年2月5日	145～193頁	
6	玉井康之	「情報化社会と子どもの教育環境-テレビ・ファミコンを中心として-」	北海道教育大学教科教育学研究図書編集委員会編	『子どもと環境』	東京書籍	1994年3月30日	72～86頁	
7	玉井康之	「技術指導の方法と住民態度の変容の仕方」	長谷山俊郎編	『北の国型村落の形成-定住化に向け』	農林統計協会	1995年8月8日	104～109頁、	

		(5章2節)、 「農村校区のもつ意義と基礎的生活圏」(5章3節)、 「畑作地帯における集落再編の取り組みと成果」(7章1節)、 「酪農地帯における集落再編の取り組みと成果」(7章2節)		た環境整備-』		日	110～114頁、 139～151頁、 152～162頁	
8	玉井康之	「集落における営農情報への対応過程と学習内容の編成」	教育学論説資料 編集委員会	『教育学論説資料』第10巻2	論説資料保存会	1995年9月1日	800～805頁	
9	玉井康之	「『地域と教育』研究における北海道の僻地教育研究の役割-都府県との比較による問題提起」	教育学論説資料 編集委員会	『教育学論説資料』第11巻2	論説資料保存会	1996年9月1日	775～781頁	
10	玉井康之	「学校を含めた生涯学習の推進と地域づくり-生涯教育推進協議会の教育効果と学校開放の役割」	山田定市編	『地域づくりと生涯学習の計画化』	北大図書刊行会	1997年2月25日	336～349頁	
11	玉井康之	「子どもの学習のつまずきと学級づくり・生活指導-潜在的カリキュラム・相互学習・生活改善を媒介にして-」	北海道教育大学 教科教育学研究 図書編集委員会 編	『子どもの学びとつまずき』	東京書籍	1997年3月30日	29～41頁	
12	玉井康之	「コミュニティ再編と地域農業の変革」	臼井晋編著	『市場再編と農村コミュニティ-地域変革の課題と展望-』	高文堂出版社	1997年5月1日	83～97頁	
13	玉井康之	「学社連携の現段階と生涯学習の課題」	神田嘉延・遠藤 智恵子・宮崎隆 志編	『生涯学習を組織するもの』	北樹出版	1997年10月10日	155～173頁	
14	玉井康之	「学校を基盤とする地域づくり活動」	大前哲彦・千葉 悦子・鈴木敏正 編	『地域住民と共に-社会教育実践論』	北樹出版	1998年2月20日	155～166頁	
15	玉井康之	「インターネットによる図書検索の教育的可能性と読書推進活動の課題」	北海道教育大学 教科教育学研究 図書編集委員会 編	『子どもとメディア-情報化社会の教科教育』	東京書籍、	1998年3月30日	168～180頁	
16	玉井康之	「学校訪問・体験学習の意義と類型」、 「小学生との合同キャンプを通じた野外体	北海道教育大学 釧路校教師教育	『教師の体験活動』	東洋館出版社	1998年10月16日	20～30頁、 43～45頁、	

		験活動)、 「料理づくりを通じた地域文化体験」、 「ボランティア・社会体験学習」102～105 頁、 「あとがき」の各箇所を執筆	研究会編				90～91 頁、 102～105 頁 189～191 頁	
17	玉井康之	「中山間地域の活性化と教育の役割」	田畑保編著	『中山間の定住条件と地域政策』	日本経済評論社	1999年4月 20日	155～172 頁	
18	玉井康之	「地域と連携した学校教育課程の再編と学 社融合の必要性」	北海道教育大学 教科教育学研究 図書編集委員会 編	『子どもと地域』	東京書籍	1999年3月 30日	6～23 頁	
19	玉井康之	「地域の福祉施設等の活用」	有園格・小島宏 編	『学校の創意工夫を生かす「総合的な 学習」の展開 国際理解、福祉・健 康の展開』	ぎょうせい	1999年4月 10日	185～197 頁	
20	玉井康之	『『地域に根ざした教育』の持つ可能性- 学 校・家庭・地域連携による総合的な人格発達 の可能性-』	葉養正明編	『学校と地域のきずな-地域教育をひ らく-』	教育出版社	1999年8月5 日	71～93 頁	
21	玉井康之	「地域創造における学校と公民館の連携」、 (第6章第5節)	日本社会教育学 会編	『現代公民館の創造』	東洋館出版社	1999年9月1 日	315～319 頁	
22	玉井康之	『『総合的な学習の時間』に果たす地方教育 行政・学校運営の役割と課題-行政・学校・ 地域連携の基本構造と役割を中心として』	北海道教育大学 教科教育学図書	『子どもと「総合的な学習の時間』』	東京書籍	2000年3月 30日	167～180 頁	
23	玉井康之	「コミュニティの活性化と生涯学習-心と心 の結びつきと地域教育経営-」	日本教育経営学 会編	『生涯学習社会における教育経営』	玉川大学出版部	2000年12月 20日	48～67 頁	
24	玉井康之	「地域環境教育の構造と社会教育行政の役 割」	鈴木敏正・伊藤 俊和編	『地域を創る学Ⅳ 環境保全から地 域創造へ』	北樹出版	2001年10月 15日	161～188 頁	
25	玉井康之	「地域と共に教育を支える」	日本教師教育学 会編	『講座教師教育学第1巻 教師とは-教 師の役割と専門性を深める』	学文社	2002年10月 10日	79～93 頁	
26	玉井康之	「辺境地域としての北海道浜中町の環境教 育実践の構造-学校教育と社会教育とまちづ くりの関連の構造」	神田嘉延編著	『環境問題と地域の自立的発展』	高文堂出版社	2004年2月 10日	477～512 頁	
27	玉井康之	「明治中期の地域別就学率の推移と地域編 成」	森元辰昭・葛西 大和編	『地方史研究の可能性』	西日本法規出版	2004年4月 12日	362～384 頁	

28	玉井康之	「学校支援ボランティアを生かした総合的な学習の時間」	佐藤晴雄編	『学校支援ボランティアとつくる特色ある学校』	教育出版	2005年2月25日	73～75頁	
29	玉井康之	「教職員の人事考課をどう活用するか」	高階玲治編	『学校の評価・自己点検マニュアル』追録第5・6合併号	ぎょうせい	2006年7月25日	1607～1619-4頁	
30	玉井康之	「保護者の学びと学校づくり」	長澤成次編	『教師教育シリーズ6巻・社会教育』	学文社	2010年4月10日	54～69頁	
31	玉井康之	「学校・家庭・地域の連携と生活指導」	住田正樹編	『子どもと地域社会(子ども社会シリーズ第4巻)』	学文社	2010年5月15日	160～170頁	
32	玉井康之	「学校の小規模化に伴う経営課題と学校マネジメント」	小松郁夫編	『“新しい公共”型学校づくり』(学校管理職の経営課題シリーズ第4巻)	ぎょうせい	2011年10月20日	117～133頁	
33	玉井康之	「保護者・地域住民との連携と教師の役割」	山崎準二・矢野博之編	『新・教職入門』	学文社	2014年3月28日	55～62頁	
34	玉井康之	「学校と地域の関係をとらえ直す考え方と方法」	天笠茂編	『地域との新たな協働を図る学校づくり』	ぎょうせい	2015年3月15日	1～16頁	
35	玉井康之	「学校におけるNIE実践研究の意義と可能性」	藤本将人・北海道新聞NIE推進センター編	『新聞を活用する教育-中学校社会科の授業づくり』	共同文化社	2015年7月1日	132～139頁	